

姫路循環器病センターの経営状況

資料2

1 主な経営指標

区 分		単位	平成22年度 ①	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度 ②	② - ①	増減率
稼働病床数		床	330	330	330	330	330	0	0.0%
入院	病床利用率	%	74.7	71.2	71.9	67.7	72.6	△ 2.1	-2.8%
	延入院患者数	人	90,006	85,986	86,561	81,572	87,407	△ 2,599	-2.9%
	1日当り入院患者数	人/日	247	235	237	223	239	△ 8	-3.2%
	新規患者数	人	5,528	5,353	5,667	5,526	5,902	374	6.8%
外来	延外来患者数	人	84,355	80,735	80,271	84,770	89,675	5,320	6.3%
	1日当り外来患者数	人/日	347	331	328	347	368	21	6.1%
	新規患者数	人	6,712	6,933	7,130	7,671	7,213	501	7.5%
入院単価		円	83,567	88,172	90,383	93,669	92,509	8,942	10.7%
外来単価		円	24,062	25,322	25,726	26,495	26,286	2,224	9.2%
平均在院日数		日	15.3	15.1	14.3	13.8	13.8	△ 1.5	-9.8%
紹介率		%	64.1	61.9	62.7	71.3	67.3	3.2	—
医業比	給与費比率	%	47.4	49.7	50.4	48.5	49.0	1.6	—
	材料費比率	%	42.5	40.8	40.9	41.7	43.8	1.3	—
	経費比率	%	11.5	10.8	11.4	12.6	12.2	0.7	—
医業収支比率		%	95.2	94.9	93.0	92.2	89.3	△ 5.9	—
経常収支比率		%	106.3	105.7	104.0	103.1	102.1	△ 4.2	—

経常収支比率は減少傾向

2 経営状況

区 分		単位	平成22年度 ①	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度 ②	② - ①	増減率
医業収入		百万円	9,709	9,796	10,059	10,070	10,651	942	9.7%
入院収入		百万円	7,521	7,582	7,824	7,641	8,086	565	7.5%
外来収入		百万円	2,030	2,044	2,065	2,246	2,357	327	16.1%
その他		百万円	158	170	170	183	208	50	31.6%
その他収入		百万円	1,203	1,174	1,254	1,244	1,585	382	31.8%
収入合計		百万円	10,912	10,970	11,313	11,314	12,236	1,324	12.1%
医業費用		百万円	10,201	10,318	10,816	10,924	11,925	1,724	16.9%
人件費		百万円	4,599	4,870	5,070	4,881	5,221	622	13.5%
減価償却費		百万円	293	311	418	410	645	352	120.1%
委託費		百万円	584	565	590	662	725	141	24.1%
材料費		百万円	4,128	3,996	4,112	4,199	4,669	541	13.1%
経費		百万円	533	494	556	610	575	42	7.9%
その他		百万円	64	82	70	162	90	26	40.6%
その他費用		百万円	72	63	56	62	59	△ 13	-18.1%
費用合計		百万円	10,273	10,381	10,872	10,986	11,984	1,711	16.7%
当期純損益		百万円	639	589	441	328	252	△ 387	-60.6%
減価償却前損益		百万円	932	900	859	738	897	△ 35	-3.8%

3 経営状況の分析と課題

平成22年度から平成26年度の伸びを見た場合、当期純損益(△387百万円)、経常収支比率(△4.2%)とも減少傾向であり、収支は悪化傾向である。

医業収入の伸びが9.7%に対し、医業費用の伸びが16.9%であり、その結果、医業収支比率は△5.9%悪化している。主な要因は、平均在院日数の短縮による延入院患者数の減、救急患者数の減、経費の増(人件費、委託料、材料費)などの影響があると考えられる。

今後の課題は、病床利用率の向上、医業収入に応じた診療材料費の抑制、適正な人員配置、業務委託による費用の効率化、などに取り組む必要がある。

製鉄記念広畑病院の経営状況

1 主な経営指標

建替えに伴う一過性の病床減 → 新館開院(病床数+51床)

区分	単位	平成22年度 ①	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度 ②	② - ①	増減率	
稼働病床数	床	362	333	333	384	384	22	6.1%	
入院	病床利用率	%	84.0	88.5	87.1	78.4	△ 1.4	-1.7%	
	延入院患者数	人	111,110	107,938	105,964	109,925	4,717	4.2%	
	1日当り入院患者数	人/日	304	295	290	301	13	4.2%	
	新規患者数	人	8,148	8,091	7,970	8,728	1,286	15.8%	
外来	延外来患者数	人	206,315	202,536	194,526	193,976	△ 15,917	-7.7%	
	1日当り外来患者数	人/日	785	762	740	738	△ 63	-8.1%	
	新規患者数	人	15,498	20,081	18,786	19,173	3,638	23.5%	
入院単価	円	50,480	52,290	53,090	56,920	58,370	7,890	15.6%	
外来単価	円	13,980	14,180	14,130	14,180	14,850	870	6.2%	
平均在院日数	日	12.6	12.3	12.3	11.6	11.3	△ 1.3	-10.3%	
紹介率	%	51.7	51.1	52.6	53.4	57.5	5.8	—	
医業比	給与費比率	%	50.7	50.1	54.5	55.4	54.2	3.5	—
	材料費比率	%	23.7	24.2	22.5	21.5	22.1	△ 1.5	—
	経費+その他比率	%	13.4	14.5	14.3	15.1	15.0	1.6	—
医業収支比率	%	100.2	99.8	95.3	90.2	92.8	△ 7.4	—	
経常収支比率	%	95.7	106.0	100.3	96.5	94.2	△ 1.5	—	

2 経営状況

区分	単位	平成22年度 ①	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度 ②	② - ①	増減率
医業収入	百万円	8,459	8,537	8,350	9,017	9,572	1,113	13.2%
入院収入	百万円	5,606	5,639	5,604	6,261	6,757	1,151	20.5%
外来収入	百万円	2,580	2,560	2,456	2,404	2,449	△ 131	-5.1%
その他	百万円	273	338	290	352	366	93	34.1%
その他収入	百万円	127	889	595	1,128	296	169	133.1%
収入合計	百万円	8,586	9,426	8,945	10,145	9,868	1,282	14.9%
医業費用	百万円	8,443	8,551	8,759	9,996	10,313	1,870	22.1%
人件費	百万円	4,292	4,280	4,549	4,995	5,187	895	20.9%
減価償却費	百万円	401	354	536	1,032	904	503	125.4%
委託費	百万円	615	616	606	664	667	52	8.5%
材料費	百万円	2,001	2,063	1,876	1,943	2,119	118	5.9%
経費	百万円	1,089	1,199	1,145	1,316	1,375	286	26.3%
その他(研究研修費等)	百万円	45	39	47	46	61	16	35.6%
その他費用	百万円	529	339	158	515	159	△ 370	-69.9%
費用合計	百万円	8,972	8,890	8,917	10,511	10,472	1,500	16.7%
当期純損益	百万円	△ 386	536	28	△ 366	△ 604	△ 218	56.5%
減価償却前損益	百万円	15	890	564	666	300	285	1900.0%

3 経営状況の分析と課題

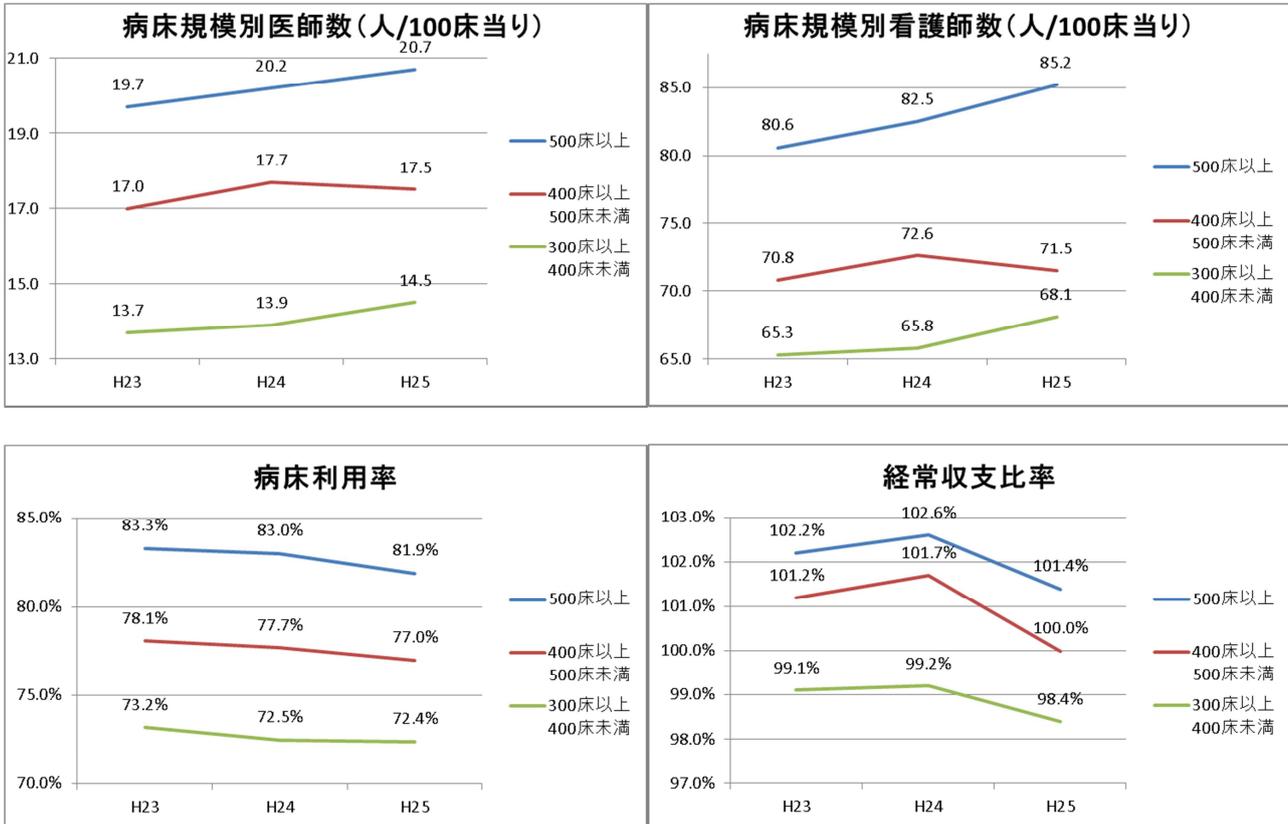
平成25年度以降は、新館建設及び救命センター開設効果等により大幅な増収を達成しているものの、人員増による人件費増、建物・医療機器等の初期投資に伴う償却費増等の影響により、当期純損益は厳しい状況が続いている。

医業収益の伸びが13.2%に対し、医業費用の伸びが22.1%であり、△7.4ポイントとなっている。

収支不足の最大の要因は、医師不足(救急医及び後方病床の一般診療科医師)と看護師不足(未稼働病床あり)であり、医師及び看護師の確保が収支改善には必須である。

○自治体病院規模別医療提供体制・経営状況

病院の規模に比例して、病床当たりの医師数、看護師数等の医療提供体制は充実し、経営状況も安定している。



区分	平成23年度				平成24年度				平成25年度			
	医療提供体制		経営指標		医療提供体制		経営指標		医療提供体制		経営指標	
	医師数 (/100床)	看護師数 (/100床)	病床 利用率	経常収支 比率	医師数 (/100床)	看護師数 (/100床)	病床 利用率	経常収支 比率	医師数 (/100床)	看護師数 (/100床)	病床 利用率	経常収支 比率
500床以上	19.7	80.6	83.3%	102.2%	20.2	82.5	83.0%	102.6%	20.7	85.2	81.9%	101.4%
400床以上 500床未満	17.0	70.8	78.1%	101.2%	17.7	72.6	77.7%	101.7%	17.5	71.5	77.0%	100.0%
300床以上 400床未満	13.7	65.3	73.2%	99.1%	13.9	65.8	72.5%	99.2%	14.5	68.1	72.4%	98.4%
200床以上 300床未満	11.6	61.2	71.2%	97.4%	12.0	62.9	70.0%	97.3%	12.0	63.9	69.4%	97.1%
100床以上 200床未満	8.5	47.4	68.9%	97.9%	8.6	48.5	67.9%	96.9%	8.6	49.2	67.1%	96.1%
50床以上 100床未満	7.5	37.7	71.1%	99.2%	7.6	38.3	69.3%	97.9%	7.5	39.4	68.1%	97.7%
50床未満	9.3	38.7	65.6%	97.9%	9.7	40.6	66.6%	98.8%	9.7	43.9	64.3%	98.7%
合計	14.4	64.9	76.0%	100.3%	14.8	66.4	75.3%	100.4%	15.0	67.9	74.7%	99.4%

【総務省「公営企業年鑑」から作成】